

公益社団法人 茨城県作業療法士会  
平成 30 年度 第 4 回常任理事会 議事録

日時：平成 31 年 1 月 17 日（木） 19：30～21：30

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、小森、笥、大内、荒井、宇都木、武士

欠席：角田、寺門

書記：大内・荒井

【Ⅰ 審議事項】

1. 講師謝金について →継続審議 (笥教育学術局長)
  - ・研修会の講師は作業療法士が多いが、認定作業療法士の謝金は別枠で設定した方が良いのではないかとの意見があった。
  - ・現在の講師謝金は、社会的地位について分けているが、認定作業療法士を取ることにメリットにもつながるので、認定作業療法士について謝金を別枠で設けてはどうか？（認定作業療法士は、HP 上にも出ているので確認しやすい。）
  - ・講師謝金規程 ABCD に入れるのではなく、認定作業療法士を持っていると 1 時間単位で+2000 円の加算とするのも一つの案としてはどうか。専門作業療法士を持っている人は自動的に B ランクとなる。
  - ・今後、近隣の県士会ではどのようにしているのか調査し、具体的なたたき台を作成し検討していく。
2. 黒木徹 OTR 叙勲受章記念祝賀会について →継続審議 (田口厚生部長／報告代理:小森事務局長)
  - ・黒木徹前会長について、秋の叙勲受章を記念して県士会主催にて平成 31 年 4 月 27 日ホテルレイクビュー水戸にて祝賀会の開催を予定している。
  - ・式次第・案内先を確定し、黒木前会長へ確認していく。
  - ・会費に関しては 30 周年を基準に確認していく。
3. 平成 31 年事務員給与体系について →総会承認 (武士財務部長)
  - ・時給 920 円、賞与支給 20,000 円（6、12 月）とする。
  - ・会計社より、事務員就業規則の第 5 章 賃金に記載された「その他必要と認められた経費」を賞与と読み替えることは可能。今後賞与が続くのであれば、他の修正と一緒に就業規則を修正することを検討してみてもよい。給与として 6 月・12 月に 2 万円計上し、規則は特段修正しない。
4. H31 年度予算案・事業計画の確認 →継続審議。(武士財務部長)
  - ・平成 31 年度予算のまとめとして、教育学術局 新たに 3 つの事業を開催予定にて予算計上。地域貢献局は、OT フェスタ運営部の返信待ち。全体として 85 万程度と見込んでいる。医療圏について昨年とほぼ同額にて計上予定。
  - ・本年度に比べ収入 100 万円増、支出は 77 万円増にて 23 万円の黒字として計上予定。
  - ・公益事業支出の占める割合は、41.18%予定も、例年 56%前後となっているため問題ないと考えている。
  - ・予算作成のスケジュールとして平成 30 年 12 月に修正案を会計社へ一度提出、修正内容を各部局へ平成 31 年 1 月常任理事会にて、予算案修正完了し常任理事会で確認。承認されれば会計社へ提出し、3 月までに予算書作成を会計社へ依頼し理事会承認にて確定する。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. 第 11 回茨城県作業療法学会進捗状況について (宇都木学会部長)
  - ・プログラムは確定し、機関誌は 1 ヶ月遅れとなったが、1/20 郵送で決定。印刷は牛久印刷にて行な

う。発表者用にホームページに情報提示済み。

- ・広報も予定通り実施。学会日より、ツイッターも随時配信中。
- ・保育士は2名確定。人数や年齢層については要確認。
- ・座長17名へ依頼文書郵送済み。担当抄録も郵送した。
- ・自助具6件、作品展22件、写真展10件の申し込みあり。賞状は例年通り行う。
- ・最優秀演者の北関東信越ブロック学会参加について、申請により交通費等を助成する方向。
- ・今回は、優秀演題は座長推薦では無く投票制にする方向。投票方法については要検討。(座長の投票ポイントは高くするか。組織票を避けるための工夫をどうするか。口述/ポスターを分けるか。)
- ・学生ボランティアは、例年通り県立医療大とアール医療福祉専門学校にお願いする。
- ・前日、村山先生を囲み、前夜祭を予定。
- ・次年度はつくば医療圏が担当。筑波学園病院の浅野さんが窓口。
- ・次年度以降は来賓も検討。行政関係であれば早めに動くようにする。
- ・演題登録システムのバージョンアップを予定。(6月頃というが、詳細は要確認。)
- ・教育学術局に受付をお願いする予定。(庶務部がサポートする。)実行委員は腕章を用意する。

2. 精神領域対策委員会研修会実施要綱について (角田精神領域対策委員長/報告代理:荒井総務部長)
- ・3/2(土)に「精神科リハビリテーションにおける個別支援の重要性」を開催予定。

3. 事業計画について (大内事務局次長)

- ・各局より集約を終えた。
- ・総会の開催時間は、前回同様に午前中で調整する。
- ・次回の学会長、実行委員長は現在検討中。決定次第、追記する。
- ・認知症支援推進委員会については、現在荒井総務部長が県と煮詰めているところ。
- ・完成形を次回の理事会に提出し、承認が得られれば、年度末に茨城県へ電子申請する。

4. いきいき茨城ゆめ大会の進捗状況について (荒井総務部長)

- ・平成30年12月16日(日)茨城県水戸市生涯学習センターにて行われた、資格審査員の資質の向上を目的とした研修会に、荒井・浅野・三木の3名が参加。福井大会での参加者の資料を下に実際の審査方法などを学習した。
- ・平成31年2月9日(土)茨城県水戸市生涯学習センターにて行われる「いきいき茨城ゆめ大会」リハーサル大会の資格審査に荒井・浅野・三木の3名が出席予定。
- ・平成31年5月25日・26日にリハーサル大会が予定されており、リハーサル大会参加選手の資格審査を実施する。
- ・コンディショニンググループ運営準備の進捗状況報告について、茨城県庁舎にて行われた第2回コンディショニンググループ運営検討会議(12/11)に荒井・柘植が出席。各団体による視察報告、意見交換、運営体制についてなどの話し合いを行った。
- ・コンディショニンググループ従事希望者応募状況についてH31年1月15日現在で従事希望者21名(のべ48名/当初必要人員55名)+リーダー4名の申し込みあり。一応現時点で各会場の従事者は最低限確保できたが、再度希望を聞いた上で実際に担当会場を振り分けてから、追加募集についての検討を行う予定。
- ・研修会の開催について、2月以降に従事予定者を対象とした研修会(複数回)を開催予定。
- ・IBATより合同研修会の開催内容や費用負担についての検討依頼あり、PT士会とも連携予定。
- ・担当会場について、PT士会と合同(MIX)に担当していくことで話が進んでいる。フライングディスク、バレーボール(精神)、バレーボール(知的)の3会場:OT3名、PT2名の計5名体制、陸上(身障・知的):OTから3名配置、ソフトボール・フットベース(知的):OTから2名配置予定。
- ・理事より、コンディショニンググループではPT・OTで同じ内容を行う必要は無く、会場担当のメンバー割を行いその中でお互いの職業特性を生かした関わりができれば良いのではないかとの意見があった。よって、テーピングの勉強会などは必要が無いのではないかとの事。PT士会とも連携しどのような形で行っていくのか検討していく。
- ・費用支弁についても、研修会は本来県がやるべき内容なのではないかとの意見があった。研修会の開催にあたっての費用支弁についても未定。

- ・今後の予定としてH31年5月にプレ大会（コンディショニングルーム設置はなし）。H31年8月実施体制決定。必要書類郵送。（プログラム、マニュアル、ID等）H31年9月（9/28～10/8）茨城国体  
H31年10月（10/12～14）全スポ茨城 コンディショニングルーム設置・運営となる。

5. 認知症関連事業の変更届について（荒井法人対策委員長）
  - ・県から認知症関連の事業に関して指摘があり変更届の申請を行っている。
  - ・次年度の認知症関連の事業計画に関しても問題が無いか県に確認している。当士会において、認知症予防等の事業は認められていないため、「疾病予防」では無く、「認知症に対する作業療法についての普及・啓発」ということで、作業療養の普及・啓発をメインとして指摘に沿って平成31年度の事業計画を提出予定。
6. 平成30年度災害発生を想定したシミュレーション訓練の実施について（寺門災害対策委員長／報告代理：荒井総務部長）
  - ・平成31年2月8日（金）11時頃実施予定。
  - ・平成30年12月の郵送物にて会員に、シミュレーション実施についての周知を行った。同時にメルマガに登録されていない施設に関しては、連絡網作成用紙の提出をお願いしている。
  - ・災害時における会員の安否確認に関する流れ（案）Ver 3.0を作成。山倉理事より、事務局から直接メルマガを送った方が早いとのご意見をいただき、集約の流れを修正した。
  - ・メルマガへの会員情報の登録・管理は引き続き山倉理事の方で実施していく。
7. 次年度役員改選に伴う選挙について（植田選挙管理委員長／代理報告：荒井総務部長）
  - ・平成31年度は役員改選に伴う選挙となるため、選挙に向けて動いている。
  - ・平成31年6月2日（日）が総会の為、定款細則に沿って、『公示日（選挙日の60日以前）・立候補〆切日（選挙日の30日以前）』に基づき、案内が3月中に全会員に届くように、3月15日の郵送物にて公示をし、4月26日（金）を立候補締め切りとして実施予定。
  - ・4月以降、植田選挙管理委員長が神栖済生会病院へ異動になりパソコンの使用が出来ないため、選挙中の立候補届の提出は『なめがた総合医療センターの小沼宛』に実施してもらう予定。小沼委員の方で取りまとめ後、『告示』文書を作成してもらって事務局へ提出予定。立候補届の書類も小沼委員の方から郵送予定とし、総会当日は植田委員長の方で報告する。
8. 第2回理事会について（荒井総務部長）  
平成31年3月3日（日）→10日（日）で調整予定 県学会開催報告、事業計画及び予算案等